

# 感染防止策チェックリスト

## 別紙1

STEP 1

催物の  
情報

秋のハーブVol.5

※催物の概要が分かるチラシ等も併せてご提出ください。

令和 3年 8月 23日 14時 分 ~ 19時 30分

14時~15時、18時30分~19時30分

SCARTSコート

札幌市中央区北1西1

120人

収容定員なし

収容定員の  
100%以内

密にならない  
程度の間隔

収容定員の  
50%以内

十分な  
人と人との間隔  
(1m)

1回60名以内

武川奈穂子 (ハーブ)

多数のため収まらない場合 → 別途、一覧をご提出ください。

秋のハーブ実行委員会

北38西4

(電話番号)  
665-0675

(メールアドレス)  
office-p@r7.dion.ne.jp

<https://heiwa-stage.jimdo.com/schedule2021-8/>

# 感染防止策チェックリスト

## STEP 2

基本的な  
感染防止

令和2年9月19日以降の取扱いが催物に適用されるため  
には、下記の項目を満たすことが必要です。

※チェックがつかない場合は、STEP6で事由をご記入ください。

有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）  
は出演・練習を控える

演者・選手等と観客が催物前後・休憩時間等に  
接触しないよう確実な措置を講じるとともに、  
接触が防止できないおそれがある催物について  
は開催を見合わせる

練習時等、催物開催前も含め、声を発出する  
演者間での感染リスクに対処する  
・演者間の適切な距離確保、換気等の対策実施

イベント前後の感染防止の注意喚起を行う  
・直行・直帰の呼びかけ  
・「5つの場面」の注意喚起  
・業種別ガイドライン遵守店舗の利用呼びかけ

交通機関・飲食店の分散利用の注意喚起を行う  
・セカンドアクセスの呼びかけ、交通機関との  
連携による混雑回避の検討  
・規模に応じた規制入退場の実施（開演時間の  
前倒し、規制退場等）の検討  
・可能な限り、予約システム、デジタル技術等

の活用により分散利用を促進

主催者及び施設管理者が、業種別ガイドライン  
に従った取組を行う旨、HP等で公表する

# 感染防止策チェックリスト

## STEP 2

基本的な  
感染防止

令和2年9月19日以降の取扱いが催物に適用されるため  
には、下記の項目を満たす必要があります。

※チェックがつかない場合は、STEP 6で事由をご記入ください。

~~大声を伴う可能性のある催物では隣席との身体的距離を確保する~~

~~・同一の観客グループ間（5名以内に限る。）  
では座席を空けず、グループ間は1席（立席  
の場合は1〜2席は？~~

演者が発声する場合には、舞台から観客の間隔  
を2m確保する

足型マークの設置、誘導員の配置、等により、  
混雑時でも密にならない程度の間隔（最低限人  
と人が触れ合わない程度の間隔）を確保する

飲食用に感染防止策を行ったエリア以外での  
飲食を制限する

休憩時間中及びイベント前後の食事等による  
感染防止を徹底する

過度な飲酒の自粛呼びかけを行う

入場時の検温、有症状（発熱又は風邪等の症状）  
を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等  
により、有症状者の入場を確実に防止する  
※発熱者・有症状者の入場は断る等のルールを  
開催前に明確に規定し、当該規定を十分周知

~~している場合は払い戻し不要~~  
可能な限り事前予約制とし、あるいは入場時に  
連絡先を把握する

接触確認アプリ（COCOA）や各地域の通知  
サービスを奨励する

・アプリのQRコードを入口に掲示すること  
等による具体的な促進措置を導入する

・携帯電話の利用を控える場面では、「電源  
及びBluetoothをONにした上でマナー

# 感染防止策チェックリスト

## STEP 2

### 基本的な 感染防止

令和2年9月19日以降の取扱いが催物に適用されるため  
には、下記の項目を満たす必要があります。

※チェックがつかない場合は、STEP6で事由をご記入ください。

マスク着用状況が確認でき、着用していない  
場合は個別に注意等を行う

大声を出す者がいた場合等は、個別に注意等を行  
う

~~スポーツイベント等ではラッパ等の鳴り物を  
禁止する~~

こまめな手洗を奨励する  
アルコール等の手指消毒液を設置する

施設内（出入口、トイレ、ウイルスが付着した  
可能性のある場所等）をこまめに消毒する

法令等を遵守した空調設備の設置、こまめな  
換気を行う

・1時間に2回以上、1回に5分以上

室温が下がらない、結露が発生しない等

乾燥する場面では、湿度40%を目安に加湿  
する。

時間差入退場等により、入退場時の密集を回避  
する

人員の配置、導線の確保等の体制を構築し、  
休憩時間や待合場所での密集も回避する

入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない  
場合はキャパシティに応じ収容人数を制限する

# 感染防止策チェックリスト

## STEP 3

徹底的な  
感染防止

食事を伴わない場合で、収容率上限100%の基準が適用されるためには、「基本的な感染防止」に加え、下記の項目を満たす必要があります。

※チェックがつかない場合は、STEP6で事由をご記入ください。

マスクを持参していない者がいた場合は主催者側で配布・販売を行い、マスク着用率100%を担保する

担保のための確実な措置を講じる

- ・常時監視のための人員配置
- ・デジタル技術活用によるリアルタイムモニタリング

等